

事前評価個表

整理番号	46
------	----

地域(地区)名	中部山岳地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	長野県	対象市町村	松本市外12市町村
事業実施期間	H23 ~ H27 (5年間)	事業実施主体	県、市町村、林業公社、森林組合等

事業の概要・目的	<p>当該地域は長野県の中部に位置し、森林面積は235,802ha(森林率79%)、このうち民有林は133,046haを占めている。</p> <p>主要な樹種はカラマツ・アカマツであるものの、北部はナラ等の広葉樹が多く存在している。戦後の拡大造林により、森林の齢級構成は10齢級をピークとして、間伐が必要な林分は人工林の約90%にあたる約49,000ha存在し、間伐等の森林整備の推進が喫緊の課題となっている。</p> <p>また、森林整備に必要な路網の整備を進めているが、林道密度は6.9m/haで、県計画に対する進捗率は約63%であり、今後の地域材の有効活用の観点からも、森林作業道等として一層整備を図る必要がある。</p> <p>素材の流通は、県下で最大規模の「長野県森林組合連合会中信木材センター」が設置され、同センターに集積されており、地元のみならず県内からも出材がある。今後、更なる地域材の流通拡大に対応するため、直材・曲材やそれぞれの用途に応じた供給体制の整備を進める必要がある。</p> <p>このような課題に対応するため、本事業により搬出間伐を主体とする森林整備及び必要な路網整備を推進する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：17,466ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>路網整備：2,800m 林業専用道開設</p> <p>総事業費：8,518,125千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 3.71 (総便益(B) = 66,631,097千円、総費用(C) = 17,942,205千円)</p>
評価結果	<p>必要性：整備対象森林の状況、森林整備の緊急性等から当該計画の必要性は高いと判断される。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林施業を効率的に推進することにより公益的機能の発揮と木材の安定供給が図られ有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備と路網整備が適切に計画されている。</p> <p>また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業  
 地域名: 中部山岳

長野県  
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	14,934,530	
	流域貯水便益	5,940,170	
	水質浄化便益	10,141,022	
山地保全便益	土砂流出防止便益	27,630,134	
	土砂崩壊防止便益	303,429	
環境保全便益	炭素固定便益	3,633,421	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	3,856,154	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	192,237	
総 便 益 (B)		66,631,097	
総 費 用 (C)		17,942,205	
費用便益比	$B \div C = \frac{66,631,097}{17,942,205} = 3.71$		

# 森林環境保全整備事業 中部山岳地域(長野県) 概要図

